

## 序 文

長崎大学公開講座叢書は今回で第9集を数えることとなりました。今回の主題は「アジアの時代を迎えて」であります。

「アジア・太平洋の時代」といわれるように、東南アジア諸国を含む東アジア地域の急速な経済成長と相互依存が注目されています。EU (European Union : 欧州連合) や NAFTA (North American Free Trade Agreement : 北米自由貿易協定) と並ぶ、リージョナリズム (地域主義) の具体化であります。

東南アジア・東アジア地域の経済協力構想としては、AFTA (ASEAN Free Trade Area : アセアン自由貿易地域), EAEC (East Asian Economic Caucus : 東アジア経済会議) 構想がありますが、すでに活動している APEC (Asian Pacific Economic Cooperation : アジア太平洋経済協力会議) は1993年の第1回首脳会議以来毎年開催され、1995年1月の大阪での会合では、自由化を進めるための「行動指針」が採択され、1996年には各国が自由化の行動計画を持ち寄り、1997年1月からの実施の予定とのことです。

このような ASEAN (Association of South-East Asian Nations : 東南アジア諸国連合) の経済協力はまた、政治的にも存在感を強めています。このような背景が、「アジア・太平洋の時代」という言葉を生んだものでしょう。

経済的、政治的な協力の活発化は、また人の交流の活発化であります。国際協力、国際交流は、異なる環境への人の往来がなくては成立しません。このとき、風土病の問題が深刻になってきます。すなわち、医療や予防医学が重要な役を果たすこととなります。

今回の公開講座叢書は、第1部「アジアの経済発展」、第2部「アジア医療事情——東南アジアを中心に——」で構成されています。本書が「アジアの時代」に際して、世に役立てていただければ、誠に幸いです。

終りにあたり、本書の企画にあたられた生涯学習教育研究センター運営委員会、ならびに執筆下さった方々へ深甚な敬意を表するとともに、刊行に御尽力

をいただいた大蔵省印刷局へ深く感謝をいたします。

平成9年2月

長崎大学長 横山 哲夫